別記様式3号(第3条第2項関係)　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　年　　月　　日

研究者等リスト

(□新規　□変更)

広島大学疫学研究倫理審査委員会委員長　殿

研究責任者

（研究機関名）

（所属・職名）

（氏名）

下記の研究において、下に示す者を研究者等として申請いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

**研究責任者・研究者等の氏名、及び利益相反に関する確認状況、教育・研修記録**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役割 | 氏 名 | 所属 | 利益相反状況の確認※1 | 教育・研修の有無※2,3 |
| 研究責任者 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |
| 研究者等 |  |  | □確認済 | □有 |

※行が不足する場合は追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 特記事項\*4 | □なし□あり（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

\*1：利益相反状況の確認は、所属機関の利益相反管理の方針に従うこと。なお、所属機関において倫理審査委員会での審査後に利益相反の確認を行う場合はその旨を特記事項に記載すること。（当該確認において研究計画書及び説明文書等への利益相反状況の記載が必要とされた場合は、変更手続きを行うこと。）

\*2：教育・研修の形態としては、各々の研究機関内で開催される研修会や、他の機関（学会等を含む。）で開催される研修会の受講、e-learning（例：ICR-Web、eAPRIN）などが考えられる（「生命・医学系指針 第４の２ ガイダンス」参照）。

\*3：少なくとも年に１回程度は教育・研修を受けていくことが望ましい（「生命・医学系指針 第４の２ ガイダンス」参照）。

\*4：申請にあたり、特記事項があれば記載する。特記事項の例として、利益相反確認が審査後であるなどが考えられる。

注）利益相反に関する書類、教育記録は保管し、委員会が必要とした場合は提出する。